

だいせんの偉人先人たち

さいとう しんざぶろう 齋藤 新三郎



【分類】 せいじ のうぎょう 政治・農業

【生没年】 1861年 ~ 1925年

(まんえん 万延2年) (たいしょう 大正14年)
(ぶんきゅう 文久元年)

じんぐうじむら 神宮寺村に四男として生まれ、家業であるこくもつしょう 穀物商・そうめん そうめん製造業において、兄の片腕として働いたほか、蓄財の大切さを考え、もめん 木綿のぎょうしょう 行商を始めた。兄の死後には、かどく 家督を継ぎ、数年で町の資産家に数えられるまでになった。明治13年には神宮寺村のしゅうにゆうやく 収入役に、明治37年にはめいじ 町長に選任された。おんこうじちよく 温厚実直でほうようりよく 包容力があり人々から慕われ、じんぐうじ 神宮寺嶽のしょくりん 植林、まつくら 松倉水門のすいもん 改修工事とかんがいようすいろ 灌漑用水路の整備などの事業を進めた。

出典 『先人の歩み上』1979、大曲市仙北郡校長会／編
『秋田県写真録』1917、秋田県写真交換会／編